

食道疾患における外科領域全般を担当しており、食道癌の診療(診断・化学療法・手術)、食道非上皮性腫瘍、食道裂孔ヘルニア、食道憩室、胃食道逆流症、食道アカシア、特発性食道破裂などの良性疾患の診療(診断・手術)を行っています。新しい診断と治療の開発を行う研究機関として、また消化器外科・食道外科専門医育成の教育機関としての責任も果たすことができるよう日々研鑽を行っています。

診療体制

3名の消化器外科専門医によるチーム体制で充実した診療を行っています。緊急性の疑われる患者さんについては、迅速に対応することが可能です。看護師、リハビリテーション部、栄養部、歯科、ソーシャルワーカーなどと連携し、多職種によるチーム医療により患者さんと共に最良の医療を行なっています。

手術実績

2022年 食道癌入院患者数 **184** 例 (うち、食道癌手術 22例、化学療法 61例、化学放射線療法 21例)

治療方針

標準治療の提供を基本とし、患者さんにとって有益と考えられる先進医療は積極的に取り入れるようにしています。当科で扱う主な疾患の治療方針については、教室ホームページ (<https://www.tksbizan.com/>) の食道外科の案内もご参照ください。

- **胸腔鏡・腹腔鏡下手術**：ほぼ全例の食道癌手術、食道良性疾患の手術において胸腔鏡・腹腔鏡を用いた低侵襲手術を行っています。
- **縦隔鏡下手術**：症例によっては、開胸を行わず、頸部と腹部の手術創のみで胸部食道癌の根治手術を行う低侵襲手術を行っています。
- **進行食道癌に対する集学的治療**：化学療法や放射線療法を術前に行うことで、手術の根治性を向上させることができ、長期的な予後も改善できます。隣接臓器浸潤のある場合でも、化学療法を行うことで、ダウンステージが得られ、切除可能となる場合があります。
- **ロボット支援下手術**：食道良性疾患に対するロボット手術を日本で初めて行った実績があります。
- **光線力学的療法**：食道表在癌や化学放射線療法後の遺残再発に対して、レーザー治療で根治を目指します。



対象疾患 食道癌、食道胃接合部癌、胃食道逆流症、食道裂孔ヘルニア、食道アカシア、など。

■ 外来担当医 (2023年4月1日現在)

	月	火	水	木	金
午前		井上聖也		後藤正和	
午後		井上聖也		後藤正和	

※お急ぎの際は直接右記までご連絡ください。
上記に関わらず対応いたします。

平日 8:30-17:15 外科外来 088-633-7136
夜間・休日 時間外受付 088-633-9211

後藤 正和

食道・乳腺甲状腺外科 科長

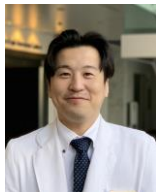
2004年 徳島大卒
外科専門医・指導医
消化器外科専門医・指導医
消化器病学会専門医・指導医
食道科認定医
日本食道学会評議員
消化器がん外科治療認定医
がん治療認定医
検診マンモグラフィ読影認定医



井上 聖也

食道・乳腺甲状腺外科 副科長

2006年 川崎医科大卒
外科専門医
食道外科専門医
消化器外科専門医・指導医
消化器病学会専門医
食道科認定医
日本食道学会評議員
消化器がん外科治療認定医
がん治療認定医
検診マンモグラフィ読影認定医
TNT医師



藤原 聡史

特任助教 (四国中央病院)

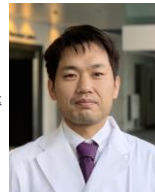
2005年 徳島大卒
外科専門医
消化器外科専門医
消化器がん外科治療認定医
食道科認定医



高杉 遥

医師

2012年 徳島大卒
外科専門医



■ 外来受診について (FAX予約の方法)

徳島大学病院HPから
【医療関係者の方(患者紹介のご案内)】
→【患者のご紹介について】FAX予約
票等各種様式と進み、
FAX予約申込票をダウンロードし、
必要事項をご記入ください。

**患者支援センターFAX
予約室**
(0120-33-5979)
へFAXしてください。
FAX受付時間
平日 9時～17時

30分以内に
予約日時を
返信いたします。

返信された予約申込票
の内容を患者さんにお
伝えください。